

緑のセンターだより



No.145

公益財団法人 旭川市公園緑地協会 旭川市緑のセンター（相談所）
〒078-8327 旭川市神楽岡公園内 Tel：0166-65-5553 Fax：0166-65-5626
旭川市公園緑地協会ホームページ <http://www.asahikawa-park.or.jp>

発行：平成 25 年 12 月 1 日

講習会のご案内 （お申込み・受付は前月の 20 日から）

「クリスマスからお正月の寄せ植え」（実習）

とき 平成 25 年 12 月 1 日（日） 教材費 2,000 円
午後 1：30～3：30 定員 20 名
講師 フラワーマスター 山本 裕美さん



* 年末年始のお知らせ *

12 月 30 日（日）～1 月 4 日（土）まで、
緑のセンターは休館させていただきます。
* 新年は 1 月 5 日から開館いたします。

「果樹の剪定と栽培管理」

とき 平成 26 年 2 月 23 日（日）
午後 1：30～3：30 定員 50 名
講師 ふじくらますも果樹園
代表 増茂 聡さん



雪が…まだ？

* 歩くスキー貸出いたします *
（スキー・シューズ・ストックの 3 点）
・帽子、手袋、運動しやすい服装で
お越しください。（サイズ 偏り…リッパで調整）
・貸出期間：緑のセンターに必ず
お問合せください。

* 特別講座 * 先着 50 名さま



「植物の病害虫と園芸薬品」

とき 平成 26 年 2 月 27 日（木）
午前 10 時から 12 時まで
講師 住友化学園芸(株)研究開発部
◎大変人気の講座です。お早めのお申込みを！



園芸薬品の正しい使い方を薬品の
専門家から学べ、初心者から熟練者
にも大変参考になる講習会です。



スキーできますか？

展示会のご案内 （初日は午後から、最終日は 4 時まで）

【休館日のご案内】

4 月～10 月は第 2・第 4 月曜日が休館日です。（祝日の場合は翌日）
11 月～ 3 月は毎週月曜日が休館日です。（ " " ）

「神楽岡公園の自然写真展」

12 月 3 日～1 月 31 日
出展：井原 久夫さん

〈園芸の基礎知識〉 家庭園芸の肥料

～ ④ 肥料の使い方 ～

肥料を施す場合は、肥料の性質や特徴を知り、植物の種類や生育の各段階により必要とする養分が異なりますので、使い分ける必要があります。今回は「成分比率の異なる肥料」の使い方などについて説明します。市販の肥料には、必ずチッ素(N)、リン酸(P)、カリ(K)などの成分値が記載された「保証票」が表示されています。例えば「N8-P14-K10」であれば、各成分の重量比でチッ素8%、リン酸14%、カリ10%が含まれていることを表示しています。これを三要素の成分比率で「NPK比」と呼びます。

【成分比率による分類と使い分】

分類の型	割合	植物の種類・生育段階など
水平型	三要素(NPK)が同比率で成分的な特徴はない。	どの植物、どの生育時期にも安心して使用できます。
山型	三要素のうち、リン酸(P)成分が最も多く入っている肥料。	花を楽しむ植物や野菜では果菜類に使用します。生育段階では花芽形成期に適しています。
谷型	三要素のうち、リン酸(P)成分が最も少ない肥料。(山形の逆)	水耕栽培やリン酸成分が過剰の時に使用します。一般に家庭での園芸・菜園では使用しない。
上がり型	三要素のうち、カリ(K)成分が最も多く入っている肥料。	球根類や野菜では根菜類、冬越し準備の宿根草の株の充実に適しています。
下がり型	三要素のうち、チッ素(N)成分が最も多く入っている肥料。	葉を楽しむ植物や野菜では葉菜類に適しています。植物を早く大きくしたい場合使用します。

【使い方の注意点】

- ・ 生育期は肥料を与えますが、休眠期は養分を吸収しないため、基本的に肥料は与えません。
- ・ 吸収できない量や濃い肥料を与えると肥料焼けなどの濃度障害を引き起こします。
- ・ 肥料は施し過ぎよりは多少不足気味が良い、少しずつこまめに肥料を施すことです。

(参考資料：日本放送出版協会「別冊 NHK 趣味の園芸 よくわかる土・肥料・鉢」、住友化学園芸「肥料の基礎知識」)

緑の相談 QアンドA (19)

クダモノトケイソウを今年買い求めたのですが、これからの管理を教えてください。

トケイソウの仲間はアメリカ大陸の熱帯地域を中心に約500種が分布していると言われ、花を楽しむほか、果実をジュースや生食にする種類もあります。トケイソウは、個性的な花の形をしており、花卉や雌しべなどが文字盤や針に見えることから付けられた名前です。トケイソウ科トケイソウ属のつる性常緑多年草です。北海道では屋外で栽培できる期間が5～9月と短いことから、鉢植えで育てるのが一般的です。ご相談のクダモノトケイソウは、パッションフルーツと呼ばれ、花を楽しむとともに果実を食用にします。



クダモノトケイソウの花

◎管理の主なポイント◎

- 《置き場所》 室内では日当たりのよい窓辺が最適。夏に屋外の場合も日当たりのよい場所。
- 《水やり》 冬は乾かし気味で育て、春～秋は乾いたらたっぷり。夏は蕾を落とす水切れに注意。
- 《肥料》 春～秋に適正希釈した液体肥料を7～10日に1回程度。冬期間は与えません。
- 《植替え》 鉢植えは2年に1回程度、4～6月頃に植替え。用土は水はけの良い混合土など。
- 《切戻し》 強切戻し時期は4月頃と9～10月頃。5～9月頃は伸びすぎ枝を軽切戻し。
- 《誘引》 あんどん仕立てで管理し、切戻し時等にこまめに誘引。
- 《花期・収穫期》 花期はおおよそ7～9月頃。収穫期は受粉後2～3か月。

(参考資料：日本放送出版協会「NHK 趣味の園芸 よくわかる栽培 12か月 トケイソウ」ほか)

※ホームページ (<http://www.asahikawa-park.or.jp>) に「花と緑の相談コーナー(Q&A)」を掲載しています。こちらでもご利用ください。

人気の観葉植物サンセベリアの仲間

店頭の見葉植物で長い間、人気が衰えないのがサンセベリアです。数年前にマイナスイオンの出る植物として、マスコミ報道されてから、ますます観葉植物として復権しました。

また、乾燥に強く、低温にも強いことから歓迎されました。しかし、凍害に遭うと腐敗します。冬の低温期はかん水を控えて乾燥気味にすれば5℃前後で充分育ちます。

アフリカ、南アジアの熱帯から亜熱帯にかけて分布し、リュウゼツラン科サンセベリア属、世界で60~70種あると言われています。

・ トリファンスキアタ

分布は熱帯アフリカ西部で、葉は直立性でやや硬く、長さが1m位になり、緑色の横縞が入る品種が多い。和名を「アツバチトセラン」と言われています。

・ トリファンスキアタ・ローレンティエー

分布は熱帯アフリカ西部で一般的に「サンセベリア」と言われ、「トラノオ」「フクリンチトセラン」の和名があります。

(写真1)

・ ハニー

分布は熱帯アフリカ西部で、高さ10から20cm、根元から四方に広がるわい性種です。

葉に黄色の覆輪が入る品種が「ゴールデン・ハニー」、全体に銀緑色のものを「シルバー・ハニー」と言われています。

・ キリンドリカ

分布は熱帯アフリカで、葉は横に広がり、棒のような太い茎になります。和名を「ボウチトセラン」と呼び最近店頭に出ています。

・ スタッキー

分布は熱帯アフリカ(ローデシア)で、キリンドリカに似て棒状の茎が上に伸びます。「ツツチトセラン」の和名。

(写真2)

・ インテルメディア

東アフリカ分布の小型種で、浅く湾曲した厚い葉を数枚根出し、緑の濃淡の縞模様が入っています。

・ グランディオス・ホック

分布は熱帯アフリカ(ソマリランド)で、アメリカでは繊維作物として栽培されています。和名を「オオヒロハチトセラン」といい、葉は幅広く、長さが1メートル前後になり、濃緑色の横縞模様が入ります。



(写真1)



(写真2)

シャコバサボテンの花後の管理

* 花がら摘み

花後に枯れた花がらを摘み取りましょう。
見た目を整えるだけでなく、病害の予防にも有効です。

* 置き場所

花が一段落し、低温期のため生育を休止している株は、多少暗い場所に置いても構いませんが、できれば日がさす明るい窓際に置くのが良いでしょう。

* 水やり

生育が休止している株は、多くの水分は必要としません。
鉢土の表面が乾いても、ちょっと待ってから水やりします。



* 茎葉摘み

4月～5月（ゴールデンウィークの連休ころ）茎葉を3節くらい摘み取り、短くします。

* さし芽

3節くらいの長さに摘み取った茎葉を小さな鉢に5本くらいさし芽します。
初秋までの生長期に3節くらいの新芽が伸びて先端に花芽が付き、花が咲きます。



展示室の植物（52）

フクシア



アカバナ科 フクシア属

中南米の熱帯・亜熱帯原産で、小低木が多いが、中には高さ10m以上の高木になるもの（ニュージーランド産）もあります。

茎が枝垂れ花が下向きに咲くものが多いので、吊り鉢に植えて高い所に飾ることが多いです。

花は細長いがくと幅広い花弁が4枚ずつあり、がくが鮮紅色で花弁が紫のものなど、様々な色のものがあり、フクシアの名を冠した色名があります。